



コンクリート二次製品 敷設用クランプ

UGC 150M UGC 300M



取扱説明書

- この取扱説明書は、クランプの基本的なご使用方法および扱い方について説明しております。ご使用前によくお読み頂き、安全作業のため使用上の注意を守って正しくお使い下さい。

スーパークランプのご使用について

このたびはスーパークランプをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。スーパークランプは鋼材および加工品等の運搬用として開発された省力吊具です。

正しいご使用のお願い

作業の安全と能率を高めるため、本書の取り扱い要領を充分にご理解頂いた上で、安全にご使用下さいますようお願い致します。

最高の能率と経済性

細かい点にまで配慮されたスーパークランプの持つ高度な機能と合理性および用途の広さは最高の能率と経済性を発揮します。

安全性には格別の配慮

特に安全面については、最大容量の3倍(または2倍)の荷重による引張試験など、十分な安全性を求めるとともに製品個々に製造番号を付記するなど、格別な配慮を致しております。

安全上のご注意

玉掛け用クランプをご使用になる前に、必ずお読みください。

玉掛け用クランプ（以下、クランプという）の使い方を誤ると、吊り荷の落下などの危険な状態になります。

ご使用前に、必ずこの取扱説明書を熟読し、正しくお使い下さい。

クランプを購入され使用される事業主はもとより、作業される方に『クレーン等安全規則』『玉掛け用クランプの作業マニュアル』『貴社の作業基準』などを教育し、作業される方が、クランプの知識・安全の情報・そして注意事項の全てについて習熟されたことを確認の上、作業に従事させて下さい。

この取扱説明書に使用する注意事項を下記『危険』『注意』の2つに区分しています。



危険

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物損の損害が想定される場合。

なお、**△ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容が記載されていますので、必ず守って下さい。

●記号の説明



・ **△ 注意** 記号は、危険・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容が記載されています。



禁止

記号は、禁止の行為であることを告げるものです。



指示

記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が記載されています。




（右図の場合は2点吊り）









2点吊り

※ お読みになった後は、お使いになる方がいつでもご覧になれるところに必ず保管して下さい。







1. 取り扱い全般について

 危険	
<ul style="list-style-type: none"> ●取扱説明書、および注意タグまたは注意銘板の内容を熟知しない人は使用しないで下さい。 ●法定資格のない人は、絶対にクレーン操作、玉掛け作業をしないで下さい。（クレーン等安全規則第221条・第222条） ●吊り上げ運搬中や反転作業中には、吊り荷の落下、転倒範囲内に立ち入らないで下さい。（クレーン等安全規則第28条・第29条） ●玉掛け作業以外には、使用しないで下さい。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●作業開始前の点検や定期点検を必ず実施して下さい。（クレーン等安全規則第217条・第220条） 	 指示



2. 作業前の確認について





 危険	
<ul style="list-style-type: none"> ●作業方法に適合しないクランプは、使用しないで下さい。 ●クランプの変形、亀裂、作動不良、摩耗など異常のあるものは使用しないで下さい。 ●吊り荷の条件が次の場合は、クランプを使用しないで下さい。（ぜい性材、高硬度材、および低硬度材や強度の著しく低い材料、つかみ部の勾配が抜け勝手に8°を超える部材） 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●クランプ本体に表示された型式、最大容量、クランプ範囲、定期点検済表示を確認して下さい。 ●吊り荷の荷重が、使用するクランプの最大容量の許容範囲内であること。 ●吊り荷の板厚が、使用するクランプのクランプ範囲内であること。 	 指示
 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●環境の条件が次の場合は、クランプを使用しないで下さい。（吊り荷の温度が150℃以上の高温、および-20℃以下の低温、酸・アルカリ等の溶液中、および雰囲気中） 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●クランプに使用するスリングは、玉掛け作業に適合したものを使用して下さい。 	 指示

3. 使用方法と玉掛け作業について






 危 険	
<ul style="list-style-type: none"> ● 1点吊りで、クランプを使用しないで下さい。(専用品・特注品を除く) ● クランプで、次のような吊り方は使用しないで下さい。(重ね吊り、当て物吊り、段吊り、共吊り、および横つかみ吊り) ● クランプで、鋼矢板の引き抜き、およびそれらのタテ吊り作業をしないで下さい。 ● 強風時、危険が予想される場合は、クランプを使用しないで下さい。 ● 油圧ショベルでは、クランプを使用しないで下さい。 (玉掛け作業に適したフック等を装備した場合は、「労働安全衛生規則第164条」および「労働基準局通達基発 542号」によること。) 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ● クランプの取り付けは、2個以上のクランプでバランスを保つ位置に取り付け、吊り荷の安定を図るようにして下さい。 	 2点吊り
<ul style="list-style-type: none"> ● クランプの吊り角度、および掛け幅角度は、型式にあった規定の角度以内であること。 ● クランプの開口部の奥まで、吊り荷を差し込んで下さい。 ● ロック装置付きのクランプを使用する場合は、必ずロックを掛けて使用して下さい。 	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ● 吊り荷のつかみ部に、油、塗料、スケール、サビ等の付着物がある場合は、使用しないで下さい。 ● クランプを投下したり、引きずったりしないで下さい。 	 禁止

4. クレーンの操作について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"> ● クランプの最大容量を超える吊り荷は、絶対に吊らないで下さい。 ● 吊り荷やクランプに、衝撃荷重が働くようなクレーン操作はしないで下さい。 ● クランプで吊った荷に、人は乗らないで下さい。また、人の乗る用途には、絶対に使用しないで下さい。 ● クランプで、地球吊りをしないで下さい。 ● 吊り荷を吊り上げ中に、クランプのロックを開放しないで下さい。 ● 吊り荷から取り外したクランプを、再度吊り荷に引っ掛けたり、隣接の部材に当てたりしないで下さい。 	 禁止

<ul style="list-style-type: none"> ●クレーンで巻き上げる時、吊り環に荷重が掛かった時点で、一旦停止して、安全確認（差し込み深さ、ロック状態）をして下さい。 ●着地前に一旦停止して、次の事項を確認して下さい。（吊り荷の傾き、転倒、および着地場所とその周辺の安全確保） 	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ●吊り荷を引きずるようなクレーン操作はしないで下さい。 ●クランプで吊り荷を吊ったまま、クレーン（巻き上げ機等）の運転位置から離れないで下さい。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●クレーンの巻き上げ・巻き下げは、静かに丁寧に行ってください。 	 指示

5. 保守点検・保管・改造について

 危 険	
<ul style="list-style-type: none"> ●クランプ、および付属品の改造は、絶対にしないで下さい。 ●クランプ、および付属品に溶接、加熱などをしないで下さい。 ●当社純正部品以外は、絶対に使用しないで下さい。 ●修理が必要なクランプは、別の場所に保管し、誤って使用されないようにして下さい。 	 禁止
<ul style="list-style-type: none"> ●保守点検、修理は、事業者が定めた専門知識のある人が行って下さい。 ●保守点検で異常があった時は、そのまま使用せず、ただちに補修、または廃棄して下さい。 ●クランプの可動部、カム、パッド等にかみ込んだ塗料・汚泥等を除去して下さい。 	 指示
 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ●保守点検、修理をする時は、必ず空荷（吊り荷がない）の状態で行ってください。 ●保守点検、修理をする時は、点検作業中の表示（『点検中』など）を必ず行って下さい。 ●クランプの回転部分（ピン回り）・ガイド溝等、摺動部に必ず注油して下さい。 ●クランプは必ず室内に保管して下さい。 	 指示

【ご 注 意】 分解・組み立てに伴う検査項目・点検基準は、取扱販売店、または当社営業所までご用命下さい。

コンクリート二次製品 敷設用クランプ (キャパ調整式)

UGC150M UGC300M

取扱説明書と点検基準

■用 途

U字溝・蓋・境界ブロック・縁石材・歩車道ブロック等の、施工作業に最適な専用クランプです。

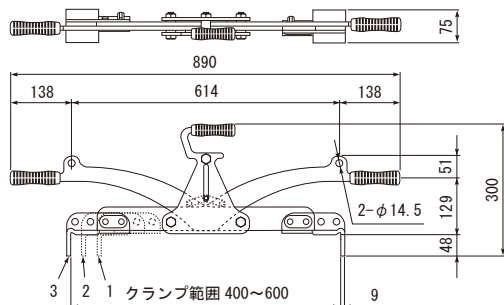
■特 長

1. コンクリート二次製品の長手両端をクランプするので、水系の邪魔をせずに敷設・施工が出来ます。
2. 爪部の厚さは9mmで、目地間隔が容易に設定出来ます。
3. 調整ピンの差換えにより、クランプ範囲を容易に調整出来ます。
4. 爪部には、歯を付けてあるので滑りにくく、吊り荷を確実にクランプします。

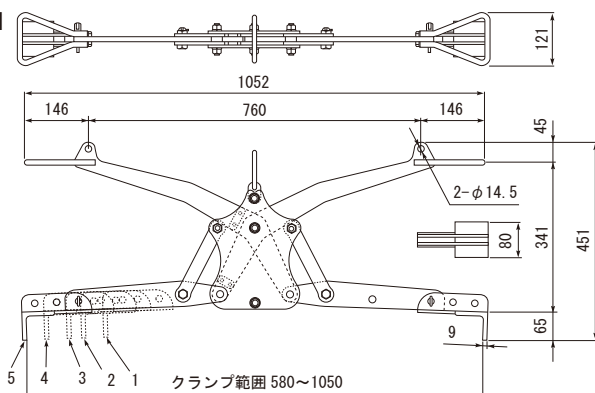
■仕 様

品 番	最大容量 (kg)	クランプ範囲 (mm)	製品質量 (kg)
UGC150M	150	1 段目 400～ 470	9
		2 段目 470～ 540	
		3 段目 540～ 600	
UGC300M	300	1 段目 580～ 680	17
		2 段目 680～ 780	
		3 段目 750～ 850	
		4 段目 850～ 950	
		5 段目 950～1050	

UGC150M



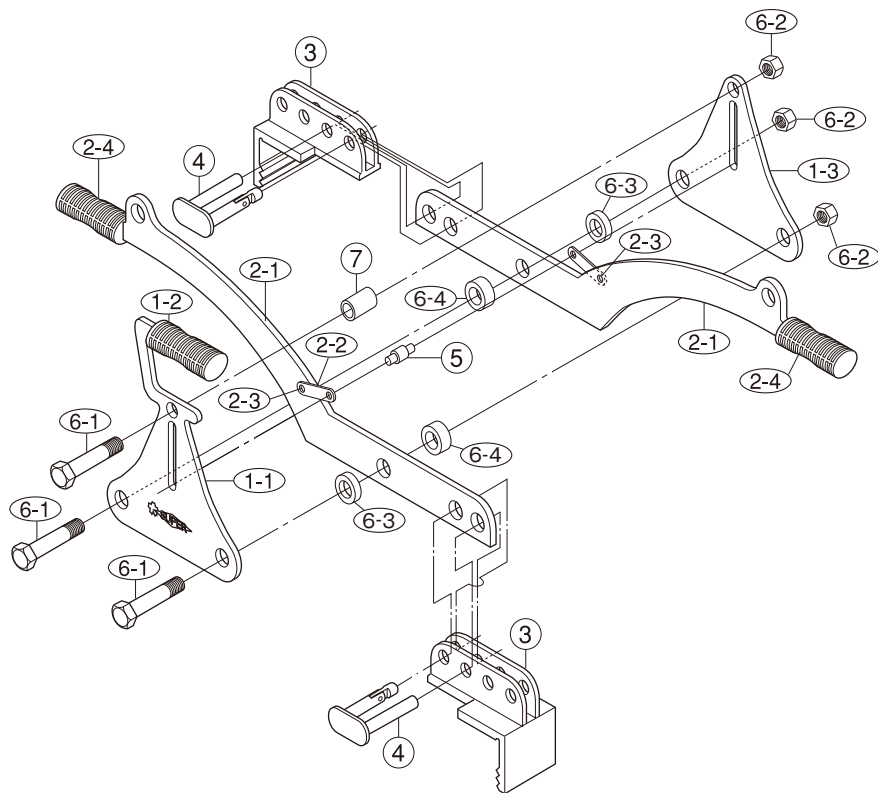
UGC300M



■

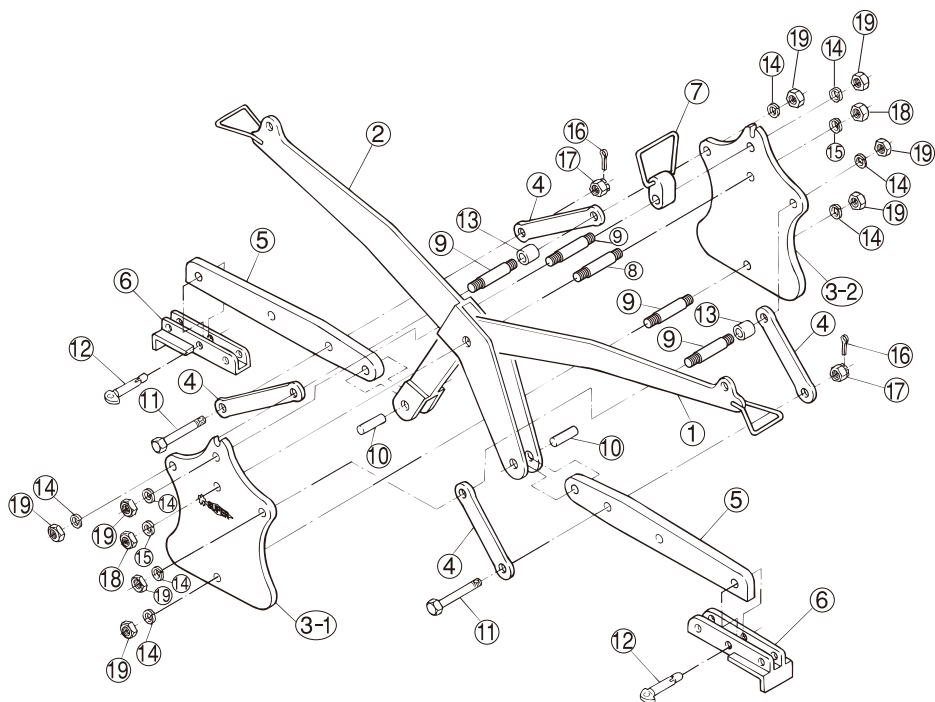
部品名称

UGC150M



部品No.	部品名称	部品品番	セット個数	部品No.	部品名称	部品品番	セット個数
※1-1	本体 A(刻印入り)	—	—	3	爪	UGCK150M	2
1-2	本体 A 用グリップ	UGCR150M	1	4	調整ピン	UGCP150M	2
1-3	本体 B	UGCB150M	1	5	矯正ピン	UGCZ150M	1
アーム		UGA150M		6-1	六角ボルト	UGCH150M	3
2-1	アーム	UGCA150M	2	6-2	U ナット		3
2-2	リンク		2	6-3	アーム用カラー A	UGCD150M	2
2-3	かしめピン		2	6-4	アーム用カラー B		2
2-4	アーム用グリップ	UGCG150M	2	7	本体用カラー C	UGCE150M	1

※1-1本体A(刻印入り)の部品販売は出来ません。



部品No.	部品名称	部品品番	セット個数
ハンドル		UGH300M	
1	ハンドル A	UGCH300M	1
2	ハンドル B	UGCI300M	1
8	支持ピン A	UGC�300M	1
15	ばね座金 A		2
18	六角ナット A		2
10	支持ピン C	UGCM300M	2
アーム		UGA300M	
5	アーム	UGCA300M	2
6	爪	UGCK300M	2
12	調整ピン	UGCP300M	2
※3-1	本体 A (刻印入り)	—	—
3-2	本体 B	UGCB300M	1
7	本体用グリップ	UGCT300M	1

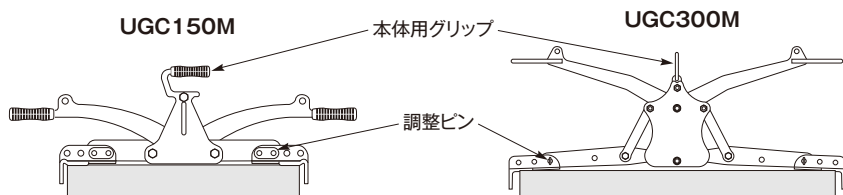
部品No.	部品名称	部品品番	セット個数
リンク		UGR300M	
4	リンク	UGCR300M	4
9	支持ピン B	UGCD300M	4
14	ばね座金 B		8
19	六角ナット B		8
13	カラー	UGCC300M	2
11	六角ボルト	UGCL300M	2
16	割りピン		2
17	溝付きナット		2

※3-1本体A (刻印入り) の部品販売は出来ません。

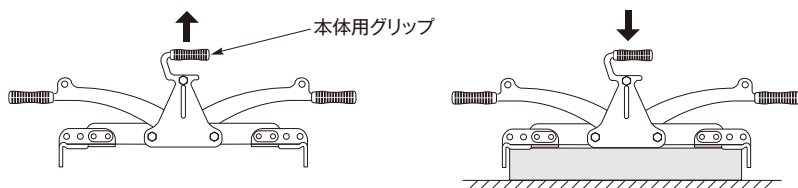
■ 取り扱いについて

1. 操作方法

- (1) 使用されるコンクリート二次製品の長さに合わせて、コンクリート二次製品敷設用吊クランプ（以下クランプ）の調整ピンを差換え、クランプ範囲を調整して下さい。調整ピン差換え位置については 6 ページの仕様をご参照下さい。

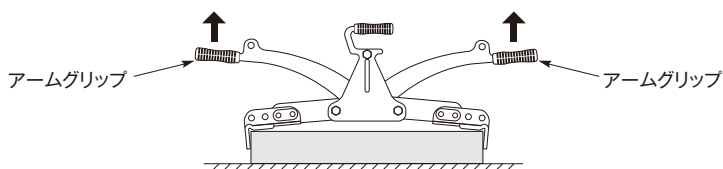


- (2) 本体用グリップを持ち上げ、クランプを吊り荷に取り付けます。



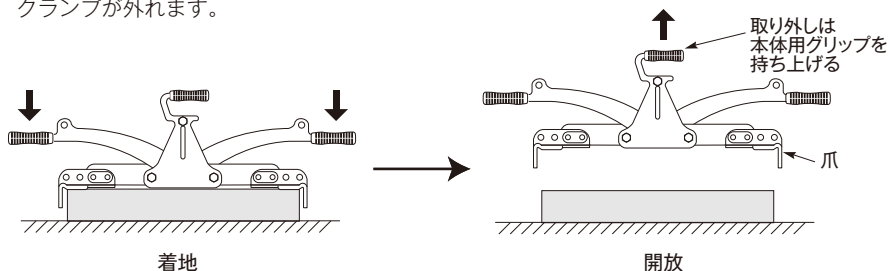
● 人力による吊り上げの場合

- (3) アームのグリップを持ち上げ吊り荷を吊り上げて下さい。吊り荷が安定しているかを確認した後、目的地に移動させて下さい。



注：吊り上げは必ず 2 人で行って同時に吊り上げて下さい。

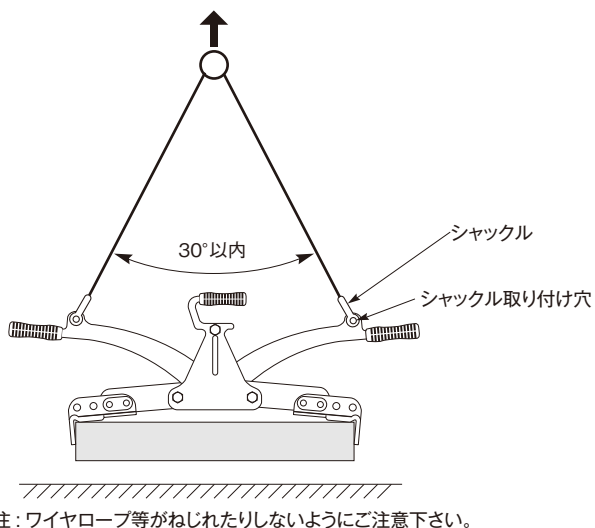
- (4) 目的地に移動した後、吊り荷を着地させて下さい。吊り荷が安定した状態で着地しているかを確認して下さい。本体用グリップを持ち上げると、爪が開放状態で持ち上がり、吊り荷よりクランプが外れます。



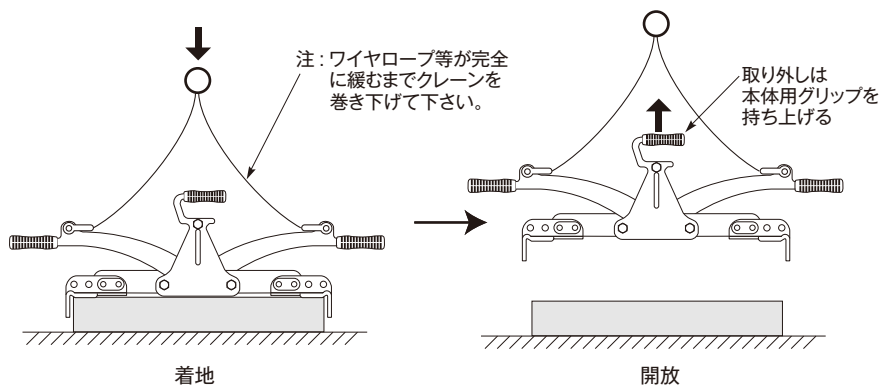
- (5) 同じ作業を行う場合は、操作方法(1)より繰り返しご使用下さい。

●クレーン等による吊り上げの場合

- (3)シャックル取り付け穴にシャックルを取り付け、ワイヤロープ等により吊り上げて下さい。
吊り荷が安定しているかを確認した後、目的地に移動させて下さい。



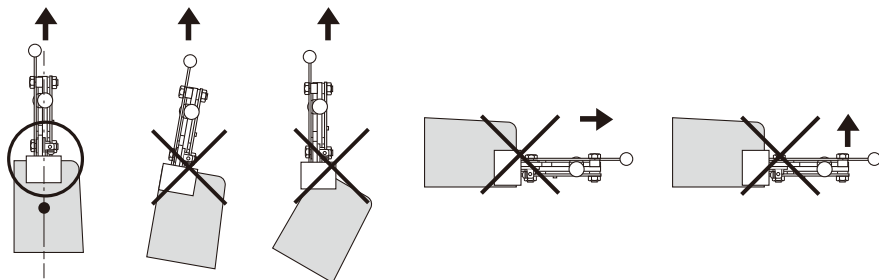
- (4)目的地に移動した後、クレーンを巻き下げ、吊り荷を着地させて下さい。吊り荷が安定した状態で着地しているかを確認して下さい。本体用グリップを持ち上げると、爪が開放状態で持ち上がり、吊り荷よりクランプが外れます。



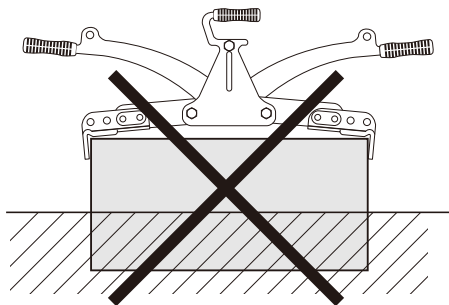
- (5)同じ作業を行う場合は、操作方法(1)より繰り返しご使用下さい。

⚠ 作業上の注意

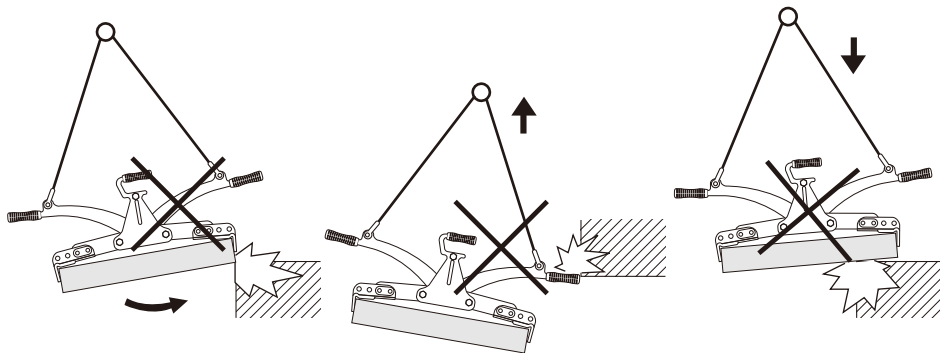
- ◆ 重心のずれた吊り方、掴みが十分でない吊り方、横引きや引き起こし等はしないで下さい。



- ◆ 埋設されたコンクリート二次製品の引き抜きをしないで下さい。(クランプが変形・破損する恐れがあります。)



- ◆ 吊り上げ移動中、クランプ及びコンクリート二次製品を他の物に当てたり引っ掛けたりしないで下さい。(ワイヤロープ等が緩み、落下事故の原因となります。)



- ◆ 吊り上げる時は、クランプ状態をよく確認した上で行って下さい。

△ 注 意

- ◆使用前には必ず、爪の歯の目詰まりや、摩耗・破損及びその他、各部に異常がないか確認・点検を行って下さい。
- ◆コンクリート二次製品以外の物には使用しないで下さい。
- ◆最大容量以内で使用して下さい。
- ◆クランプ範囲内で使用して下さい。
- ◆吊り荷が落ちる恐れのある区域内には立ち入らないで下さい。
- ◆吊り荷やクランプに衝撃を与えないで下さい。
- ◆吊り荷を急激に移動、又は急停止させないで下さい。
- ◆養生中のコンクリート二次製品には使用しないで下さい。
- ◆改造しないで下さい。加熱・加工等をした場合は、著しく品質（強度）の低下を招きます。
- ◆爪及び吊り荷に砂・泥・氷・雪などの異物が付着している状態で使用しないで下さい。
必ず爪及び吊り荷より取り除いてご使用下さい。

その他

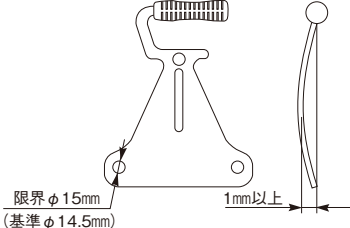
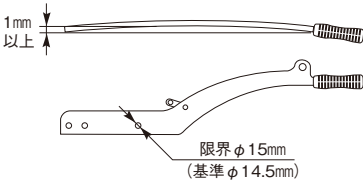
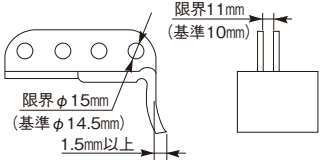
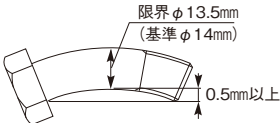
補修部品・修理のお問い合わせについて

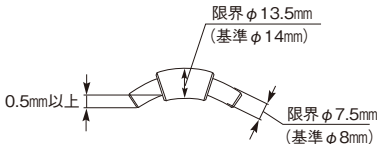
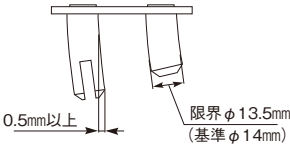
補修部品・修理を必要とされる場合は、本クランプの使用を中止し、その旨、裏表紙の（株）スーパーツールの各支店・営業所迄ご連絡下さい。

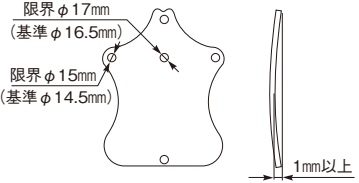
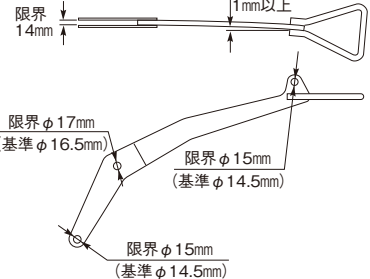
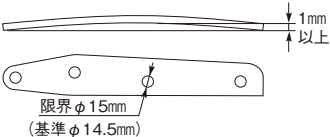
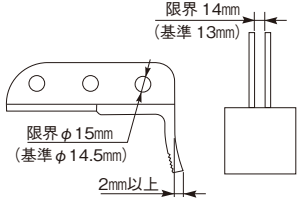
日常点検

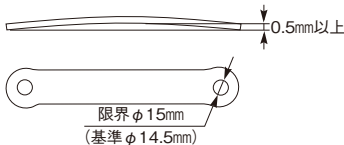
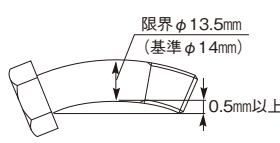
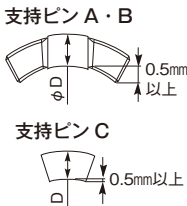
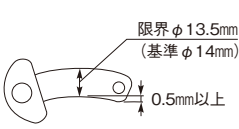
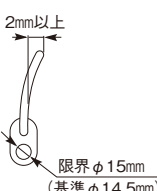
作業の安全と能率低下を防ぐためにも日常の点検と手入れを実施して下さい。

1. 本体やアーム、爪等にきず・割れなどの破損が無いかな。
2. ボルト・ナット・ピン類の取り付け状態はよいかな。
3. 各部の作動及び注油の状態はよいかな。
4. 爪の歯先の摩耗や欠損の有無、及び歯の目詰りが無いかな。
5. その他点検基準を参照して下さい。

項目	点検方法	使用限界	処置
本体	<ul style="list-style-type: none"> ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●1mm以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より0.5mm以上の摩耗や変形がある時。 	<p>本体Aは吊具を廃却 本体Bは取替</p>
アーム	<ul style="list-style-type: none"> ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●1mm以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より0.5mm以上の摩耗や変形がある時。 	取替
爪	<ul style="list-style-type: none"> ●ぎず・割れがないか。(目視又はカラーチェック) ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●目視等で確認された時。 ●下記に示す以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より0.5mm以上の摩耗や変形がある時。 	取替
六角ボルト・ナット	<ul style="list-style-type: none"> ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト軸部の摩耗や変形がないか。(測定具) <p>●ナットの取り付け状態は良いか。(目視)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●0.5mm以上の湾曲や変形がある時。 ●軸部直径が円周上の一ヶ所でも下記寸法以下になった時。  <p>●破損・緩み・外れている時。</p>	取替

項目	点検方法	使用限界	処置
矯正ピン	<ul style="list-style-type: none"> ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ピンの摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替
調整ピン	<ul style="list-style-type: none"> ●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ピンの摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替

項目	点検方法	使用限界	処置
本体	<ul style="list-style-type: none"> ● 湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ● ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1mm 以上の湾曲や変形がある時。 ● 基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	<p>本体 A は吊具を廃却 本体 B は取替</p>
ハンドル	<ul style="list-style-type: none"> ● 湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ● ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 下記寸法以上の湾曲や変形がある時。 ● 基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替
アーム	<ul style="list-style-type: none"> ● 湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ● ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1mm 以上の湾曲や変形がある時。 ● 基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替
爪	<ul style="list-style-type: none"> ● ぎず・割れがないか。(目視又はカラーチェック) ● 湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ● ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目視等で確認された時。 ● 下記に示す以上の湾曲や変形がある時。 ● 基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替

項目	点検方法	使用限界	処置									
リンク	●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具)	●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替									
六角ボルト・ナット	●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト軸部の摩耗や変形がないか。(測定具) ●ナットの取り付け状態は良いか。(目視)	●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●軸部直径が円周上の一ヶ所でも下記寸法以下になった時。  ●破損・緩み・外れている時。	取替									
支持ピン A・B・C・ナット	●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ピンの摩耗や変形がないか。(測定具) ●ナットの取り付け状態は良いか。(目視)	●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 <table border="1" data-bbox="536 826 715 908"><tr><td>支持ピン</td><td>A</td><td>B・C</td></tr><tr><td>D(基準)</td><td>16</td><td>14</td></tr><tr><td>D(限界)</td><td>15.5</td><td>13.5</td></tr></table>  ●破損・緩み・外れている時。	支持ピン	A	B・C	D(基準)	16	14	D(限界)	15.5	13.5	取替
支持ピン	A	B・C										
D(基準)	16	14										
D(限界)	15.5	13.5										
調整ピン	●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ピンの摩耗や変形がないか。(測定具)	●0.5mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替									
本体用グリップ	●湾曲や変形がないか。(目視または測定具) ●ボルト穴の摩耗や変形がないか。(測定具)	●2mm 以上の湾曲や変形がある時。 ●基準寸法より 0.5mm 以上の摩耗や変形がある時。 	取替									

コンクリート二次製品敷設用クランプ (UGC150M / UGC300M) 定期自主点検記録

品番: 最大容量: 製造番号: 使用開始日: 年 月 日

点検要領は前頁の点検基準を参考に行ってください。

[illegible]

記号	点検内容
✓	点検して異常なし
T	締付整備をして異常なし
L	注油をして異常なし
C	清掃をして異常なし
○	部品を交換して異常なし
×	使用限界を超えている

- 点検の頻度は各事業所で独自に日時を決めて定期的に行って下さい。
- 上記表中の各部品の点検の結果、左表の該当する点検内容の記号を書込んで下さい。
- 点検の結果、各部品に1つでも×の項目があった場合、総合判定は×として下さい。その場合、クランプの使用は出来ません。(×の項目を修理してから再度点検を行い総合判定で○となった後、使用を再開して下さい)

株式
会社

スーパーツール

<https://www.supertool.co.jp/>



- | | | | | |
|--------------------------------|-----------|---------------------------------|---------------------|------------------|
| <input type="checkbox"/> 本社・工場 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5521(代) | FAX.072-236-5785 |
| <input type="checkbox"/> 大阪支店 | 〒599-8243 | 大阪府堺市中区見野山158番地 | TEL.072-236-5526(代) | FAX.072-236-3817 |
| <input type="checkbox"/> 東京支店 | 〒142-0041 | 東京都品川区戸越3丁目4-18
ゴールドステージビル4F | TEL.03-5750-2341(代) | FAX.03-5750-2347 |
| <input type="checkbox"/> 名古屋支店 | 〒460-0026 | 名古屋市中区伊勢山1丁目2-4 | TEL.052-323-0701(代) | FAX.052-323-0720 |
| <input type="checkbox"/> 札幌 | 〒003-0029 | 札幌市白石区平和通3丁目北4-20 | TEL.011-864-3581 | FAX.011-864-3590 |
| <input type="checkbox"/> 仙台 | 〒984-0831 | 仙台市若林区沖野2丁目8-5 | TEL.022-294-1922 | FAX.022-285-1513 |
| <input type="checkbox"/> 北関東 | 〒337-0004 | さいたま市見沼区卸町2丁目6-9 | TEL.048-682-5000 | FAX.048-682-5059 |
| <input type="checkbox"/> 広島 | 〒733-0012 | 広島市西区中広町2-14-27 | TEL.082-293-5570 | FAX.082-293-5531 |
| <input type="checkbox"/> 福岡 | 〒812-0016 | 福岡市博多区博多駅南3-10-23 | TEL.092-431-1897 | FAX.092-431-1909 |